

収支計画の見直しに関する設定条件一覧

	前回(平成30年度)設定条件	新病院開院前(R2~R5)設定条件	新病院開院後(R6以降)設定条件																																																																											
【収益的収支】																																																																														
1. 病院事業収益																																																																														
(1) 医業収益																																																																														
入院診療収入	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>病床数</th> <th>診療単価</th> <th>病床稼働率</th> <th>稼働数(1日平均)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>一般</td> <td>100床</td> <td>38,615円</td> <td>89.3%</td> <td>89.3床</td> </tr> <tr> <td>地域包括</td> <td>59床</td> <td>30,414円</td> <td>74.2%</td> <td>43.8床</td> </tr> <tr> <td>回復リハ</td> <td>40床</td> <td>32,333円</td> <td>94.2%</td> <td>37.7床</td> </tr> <tr> <td>全体</td> <td>199床</td> <td>34,939円</td> <td>85.8%</td> <td>170.8床</td> </tr> </tbody> </table>		病床数	診療単価	病床稼働率	稼働数(1日平均)	一般	100床	38,615円	89.3%	89.3床	地域包括	59床	30,414円	74.2%	43.8床	回復リハ	40床	32,333円	94.2%	37.7床	全体	199床	34,939円	85.8%	170.8床	<p>R1実績/9ヶ月×12ヶ月(単価:136,281千円/月)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>病床数※</th> <th>診療単価</th> <th>病床稼働率</th> <th>稼働数(1日平均)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>一般</td> <td>110床</td> <td>33,573円</td> <td>67.6%</td> <td>74.4室</td> </tr> <tr> <td>地域包括</td> <td>48床</td> <td>36,032円</td> <td>48.3%</td> <td>23.2室</td> </tr> <tr> <td>回復リハ</td> <td>41床</td> <td>34,682円</td> <td>69.0%</td> <td>28.3室</td> </tr> <tr> <td>全体</td> <td>199床</td> <td>33,743円</td> <td>65.8%</td> <td>130.9床</td> </tr> </tbody> </table> <p>※ R2.3.31現在の病床数          ※ 地域包括ケア病床は、12月に一般病床から転換した。          ※ 一般病床は110床で換算</p>		病床数※	診療単価	病床稼働率	稼働数(1日平均)	一般	110床	33,573円	67.6%	74.4室	地域包括	48床	36,032円	48.3%	23.2室	回復リハ	41床	34,682円	69.0%	28.3室	全体	199床	33,743円	65.8%	130.9床	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>病床数</th> <th>診療単価</th> <th>病床稼働率</th> <th>稼働数(1日平均)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>一般</td> <td>90床</td> <td>38,000円</td> <td>83.0%</td> <td>74.7床</td> </tr> <tr> <td>地域包括</td> <td>48床</td> <td>35,000円</td> <td>80.0%</td> <td>38.4床</td> </tr> <tr> <td>回復リハ</td> <td>41床</td> <td>35,000円</td> <td>85.0%</td> <td>34.8床</td> </tr> <tr> <td>全体</td> <td>179床</td> <td>36,512円</td> <td>82.7%</td> <td>148.0床</td> </tr> </tbody> </table> <p>R6年度は新病院への移行期間等の影響を考慮して△10%を見込む。          (参考)同規模自治体病院入院診療単価:42,821円          (平成29年度病院経営管理指標(厚生労働省))</p>		病床数	診療単価	病床稼働率	稼働数(1日平均)	一般	90床	38,000円	83.0%	74.7床	地域包括	48床	35,000円	80.0%	38.4床	回復リハ	41床	35,000円	85.0%	34.8床	全体	179床	36,512円	82.7%	148.0床
	病床数	診療単価	病床稼働率	稼働数(1日平均)																																																																										
一般	100床	38,615円	89.3%	89.3床																																																																										
地域包括	59床	30,414円	74.2%	43.8床																																																																										
回復リハ	40床	32,333円	94.2%	37.7床																																																																										
全体	199床	34,939円	85.8%	170.8床																																																																										
	病床数※	診療単価	病床稼働率	稼働数(1日平均)																																																																										
一般	110床	33,573円	67.6%	74.4室																																																																										
地域包括	48床	36,032円	48.3%	23.2室																																																																										
回復リハ	41床	34,682円	69.0%	28.3室																																																																										
全体	199床	33,743円	65.8%	130.9床																																																																										
	病床数	診療単価	病床稼働率	稼働数(1日平均)																																																																										
一般	90床	38,000円	83.0%	74.7床																																																																										
地域包括	48床	35,000円	80.0%	38.4床																																																																										
回復リハ	41床	35,000円	85.0%	34.8床																																																																										
全体	179床	36,512円	82.7%	148.0床																																																																										
外来診療収益	御上会H27決算から土曜日休診の影響を反映	R1実績/9ヶ月×12ヶ月(単価:58,379千円/月) 診療単価 11,264円/1人	R1実績/9ヶ月×12ヶ月(単価:58,379千円/月)×1.05(収益増加見込係数) 診療単価 11,827円/1人																																																																											
室料差額収益	単価:5,400円/1室 個室数 35室 (内訳) 一般 16室 ミックス(一般+包括) 7室 地域包括 8室 回復リハ 4室	R1実績/9ヶ月×12ヶ月(単価:2,313千円/月) 個室数 28室 (内訳) 一般 17室 地域包括 5室 回復リハ 6室 ※ R2.3.31現在の病床数	単価 5,400円/1室 個室数 23室 (内訳) 一般 14室 地域包括 4室 回復リハ 5室 R6年度は新病院への移行期間等の影響を考慮して△10%を見込む。																																																																											
公衆衛生(健診等)収益	御上会H25健診実績で設定。実施日数は毎年度245日で設定	R1実績/9ヶ月×12ヶ月(単価:5,854千円/月)	R1実績/9ヶ月×12ヶ月(単価:5,854千円/月)×1.05(収益増加見込係数)																																																																											
一般会計繰入金①	繰入基準に基づく繰入金のうち、リハビリテーションに要する経費、小児医療に要する経費、救急医療の確保に要する経費、保健衛生行政事務に要する経費に係る繰入金を計上	変更なし																																																																												
介護関係収益	御上会H29実績で設定	R1実績/9ヶ月×12ヶ月(単価:5,854千円/月)																																																																												
訪問リハビリ収益	御上会H29実績で設定	R1実績/9ヶ月×12ヶ月(単価:2,062千円/月)																																																																												
その他医業収益(国保連・国保・福祉請求事務費)	該当なし	変更なし(少額のため)																																																																												
(2) 医業外収益																																																																														
一般会計繰入金②	繰入基準に基づく繰入金のうち、研究研修に要する経費、共済追加費用に要する経費、医師確保に要する経費、基礎年金拠出金に係る繰入金を計上	変更なし																																																																												
一般会計繰入金③	繰入基準に基づき、毎年度の企業債償還利息の1/2を計上	変更なし																																																																												
国庫補助金	湖南広域行政組合・二次救急委託料を計上	変更なし																																																																												
長期前受金戻入	固定資産の取得に充てた補助金等について、毎年度の減価償却に応じて収益化する。	①元金償還のうち一般会計繰入金相当額(償還額の1/2)を計上 ②現施設(無償譲渡資産)の減価償却費相当を計上(R1~8) ③施設整備に対する国庫補助金(社会資本整備総合交付金)相当額の1,000,000千円をR6~10年度の間に各200,000千円計上																																																																												
その他医業外収益	立体駐車場の収益を計上	10,000千円/年(定額)を計上	10,000千円/年(定額)を計上(駐車場収益は現時点では計上しない。)																																																																											
(3) 特別利益																																																																														
特別利益																																																																														
長期前受金戻入	当年度の減価償却×繰入割合により元金償還に係る繰入金が少額であった場合、当年度中に収益化できなかった額を計上	医業外収益の長期前受金戻入に併せて計上																																																																												
土地売却利益	H33(R3に相当)に現病院の土地売却収益を計上	現病院の土地売却収益は病院事業会計で現時点では計上しない。																																																																												

	前回(平成30年度)設定条件	新病院開院前(R2~R5)設定条件	新病院開院後(R6以降)設定条件
【収益の収支】			
2. 病院事業費用			
(1) 医業費用			
給与費	御上会H27給与実績を基に開院10年目程度で人件費率が60%を下回らない程度に調整した額を計上	R1実績/9ヶ月×12ヶ月(給料のうち期末・勤勉手当はR1実績(12月支給額)×2回支給)	
給料(賞与を含む。)	職員数については、基本計画からの積み上げを踏襲	給料(賞与を含む。) 1,627,141千円/年	
退職給付引当金		上記の額に今後の職員増分としてR2~5の間で5名相当分、R6以降でさらに5名相当分の人件費を各年度に見込む。	
法定福利費		退職給付引当金 103,849千円/年×1.1(費用増加見込係数)	
		法定福利費 207,522千円/年×1.1(費用増加見込係数)	
材料費			
薬品費	御上会H22~26決算の「対入院・外来診療収益比率」の平均8.2%に公立化による増加係数1.15を乗じた9.43%で設定	R1実績を税抜きで計算し、9ヶ月で除して1ヶ月平均額を算出 1ヶ月あたりの平均額12,112千円(対入院・外来診療収益比率で算出した場合6.22%に相当)	R1実績の税抜き額の平均が入院・外来収益に占める割合(対入院・外来診療収益比率)6.22%に今後の増加見込みとして1.2を乗じた7.47%で設定
		月平均額×12ヶ月×1.1(費用増加見込係数)	各年度の入院・外来診療収益×7.47%(対入院・外来診療収益比率)
診療材料費	御上会H22~26決算の「対入院・外来診療収益比率」の平均5.0%に公立化による増加係数1.15を乗じた5.75%で設定	R1実績を税抜きで計算し、9ヶ月で除して1ヶ月平均額を算出 1ヶ月あたりの平均額9,112千円(対入院・外来診療収益比率で算出した場合4.68%に相当)	R1実績の税抜き額の平均が入院・外来診療収益に占める割合(対入院・外来診療収益比率)4.68%に今後の増加見込みとして1.2を乗じた5.62%で設定
		月平均額×12ヶ月×1.1(費用増加見込係数)	各年度の入院・外来診療収益×5.62%(対入院・外来診療収益比率)
医療消耗備品	御上会H22~26決算の「対入院・外来診療収益比率」の平均0.1%に公立化による増加係数1.15を乗じた0.12%で設定	R1実績を税抜きで計算し、9ヶ月で除して1ヶ月平均額を算出 1ヶ月あたりの平均額44千円(対入院・外来診療収益比率で算出した場合0.02%に相当)	R1実績の税抜き額の平均が入院・外来診療収益に占める割合(対入院・外来診療収益比率)0.02%に今後の増加見込みとして1.2を乗じた0.024%で設定
		月平均額×12ヶ月×1.1(費用増加見込係数)	各年度の入院・外来診療収益×0.024%(対入院・外来診療収益比率)
経費	御上会H22~26決算を基に各細節ごとに積み上げて算出	R1実績を税抜きで計算し、9ヶ月で除して1ヶ月平均額を算出 1ヶ月あたりの平均額33,060千円	R1実績を税抜きで計算し、9ヶ月で除して1ヶ月平均額を算出 1ヶ月あたりの平均額33,060千円に今後の増加見込みとして1.2を乗じる。
		月平均額×12ヶ月×1.1(費用増加見込係数)	月平均額(税抜)×12ヶ月×1.2(費用増加見込係数)
貸倒引当金繰入額	看護学生修学資金貸付金に対する引当金を計上		看護学生修学資金貸付金に対する引当金を計上 10人相当分 6,000千円
減価償却費	定額法により算出		変更なし
資産減耗費	新病院開院時(H33(R3に相当))に解体予定の現病院施設に係る帳簿残価を減価償却として一括計上		新病院開院に伴い現病院施設が用途廃止となることから建物に係る帳簿残価を資産減耗として一括償却する。(R8年度)
研究研修費	研究研修費に係る繰入基準に基づき算定した繰入金と同額を計上		変更なし
(2) 医業外費用			
企業債利息	機構資金貸付利率を基に30年償還の場合の利率0.7%、5年償還の場合の利率0.01%で設定		変更なし
繰延勘定償却	新病院の建築に要する費用に対する控除対象外消費税を整備完了翌年度に一括償却する。  機器・情報システム等の固定資産に対する控除対象外消費税を整備翌年度から5~10年で均等償却する。	新病院の建築に要する費用に対する控除対象外消費税を整備完了翌年度(R6年度)から5年間で均等償却する。  機器・情報システム等の固定資産に対する控除対象外消費税は各償却初年度に一括償却する。	
雑損失	固定資産以外の消費税  各年度の医業費用から給与費及び減価償却費を控除した金額の10%で設定		
(3) 特別損失			
その他特別損失	新病院開院時(H33(R3に相当))に予定する現病院施設の除却に要する費用を計上		現病院施設の除却に要する費用は病院事業会計で現時点では見込まない。